

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.-79 : ^{つしまし}長崎県対馬市 (人口: 31,392人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・博多港からフェリーで4時間30分(厳原航路)、5時間40分(比田勝航路)、博多港からジェットfoilで2時間15分(厳原港) ※韓国・プサンからの国際航路あり
- ・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で約35分

(2) 事業実施の目的等

「学びの力を地域に、地域の力を学びに」。地域おこしへの理解促進と地域おこしの担い手育成を行うとともに、参加者との交流・実践作業を通じて地域を元気にするため、学生のみなさんのフィールドワーク(実習や調査研究等)を積極的に受け入れています。

(3) 体験の内容(主に3つのプログラムをご用意)

ア)「対馬市島おこし実践塾」:全国の学生等が集い学び合う実践型の合宿です。地域おこしの基礎や実状を現地で学ぶ入門編(3泊4日程度)、「生物多様性と農林水産業振興」をテーマとした専門編(4泊5日程度)があります。入門編は8月中、専門編は9月上旬の開催を予定。
イ)「フィールド研究」:対馬をフィールドに学術研究に取り組む学生をサポートします(情報提供、研究助言、滞在拠点の提供等)。学術研究に要する研究補助制度もあります(公募審査制)。
ウ)「農林水産業インターン」:農林水産業の現状理解の促進と担い手育成を図るインターンシップ。農林漁業に関心がある学生、対馬で農林漁業の仕事に就きたいという学生にオススメです。

(4) 受入主体

対馬市
(九州と朝鮮半島の間には浮かぶ国境離島です)

(5) 受入期間

平成30年4月~平成31年3月頃
(※プログラムにより受入期間や滞在日数は異なります)

(6) 応募上の注意

※費用負担(予定)	ア)対馬までの交通費、参加費(入門編:1万、専門編:1万2千円)自己負担 ※参加費には食費・保険等含まれます。宿泊や講師、テキスト等主催者負担 イ)すべて自己負担(学術研究補助に採択された場合は対象経費の2/3を補助) ウ)対馬までの旅費・宿泊費(1/2は補助予定)、食費・保険料等自己負担
①要件	大学・専攻・学年など不問。地域の方々と積極的にコミュニケーションを取りながら現場で学びたい学生を歓迎します
②応募締切り	平成30年4月~7月中に募集予定
③宿泊施設	ア)民家へのホームステイ、イ)及びウ)域学連携活動・滞在拠点施設等
④食事形態	ア)地区の方々による炊き出し等、イ)及びウ)自炊等
⑤その他	募集の詳細は4月頃中に「対馬市域学連携ポータルサイト」に掲載します。

(7) 地域担当者から一言

みなさんはなぜ地域に関心があり、何のために地域おこしをしたいのでしょうか。地域とは何か、地域や農林水産業の現状はどうなっているのか。地域おこしを行う上で何が大切なのか。それは地域の方々との交流しながら、見て聞いて体験してみないと分かりません。現代社会は、人として大切なことを見落としがちです。人が温かく人情あふれる対馬は、その大切なことを気付かせてくれます。地域おこし・暮らし・生業の根本を学びたい、将来地方に移住したい、地域に貢献したいという学生諸君、お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名:対馬市	担当部署:しまづくり推進部 市民協働・交通対策課
(ふりがな)	TEL:0920-53-6111(代表) 内線:473
担当者氏名 域学連携担当 前田 剛	FAX:0920-53-6112(代表)
E-mail: ikigaku@city-tsushima.jp	
URL:域学連携ポータルサイト http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/	
応募宛先 〒817-8510 長崎県対馬市厳原町国分1441番地	